

事務事業評価シート(平成19年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
10801	病院経理事務	辰野総合病院	庶務係	荻原 憲夫	栗林 秀樹
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 30 日	連絡先(内線)	41-0238
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		<input type="checkbox"/> 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 特別	9203	経費	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別		#N/A		
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	安らぎとうのいのある社会	
		節 (コード選択)	2節	いきいきとした健康な暮らしを築く	
		項[基本施策] (コード選択)	223	地域医療体制の拡充	
主な取り組み (コード選択)		2231	辰野総合病院の経営健全化		
関連する計画等への位置づけ	<input checked="" type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input checked="" type="checkbox"/> その他	病院改革プラン
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし		

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。
職員
②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。
経営の健全化 医療サービスの向上
③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。
1 経費の縮減
2 収入の確保
3 業務の委託化
4 人的要因の削減

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度 (見込み)	21年度 (見込み)	23年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	経常損益	千円	△140,437	△137,219	△100,000	△80,000	0
	説明	単年度の赤字黒字の状況	目標値設定の根拠	年度末決算の状況				
②	指標名							
	説明		目標値設定の根拠					

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度		
		18年度	19年度	20年度 (見込み)	21年度 (見込み)	年度 (見込み)	年度 (見込み)	
①	指標名	経常損益前年増減の額	千円	△27,104	3,208	37,219	20,000	40,000
	説明	単年度の赤字黒字の前年度対比状況	目標値設定の根拠	年度末決算の対前年度赤字黒字の増減状況 病院改革プランとの整合性				
②	指標名							
	説明		目標値設定の根拠					

(5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法		<input checked="" type="checkbox"/> 決算書・予算書等に記載の数字	<input type="checkbox"/> 按分計算による算定										
○総事業費(コスト概算) = ①+②	(千円)	平成18年度 決算	平成19年度 決算	平成20年度 見込み	平成21年度 見込み								
	対前年比	2,070,504	1,958,283	2,140,583	2,000,900								
	%		94.6	109.3	93.5								
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)		1,822,630	1,665,270	1,840,583	1,700,900								
B) 一般財源(税金)		247,874	293,013	300,000	300,000								
①事業費	(千円)	2,069,630	1,957,374	2,139,683	2,000,000								
対前年比	%		94.6	109.3	93.5								
②人件費の概算	(千円)	874	909	900	900								
対前年比	%		104	99	100								
		医師	看護師	技術・栄養士	事務	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費			
		H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	/	/	/	/			
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0.10 0.10 0.10	0.10 0.10 0.10	874	909	900	900			
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート								0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	C	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	C	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している → C 把握していない

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

各科で自分たちがまず検討。
全体を経営機能検討委員会で検討

20年度予算見積書への反映 あり なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

経営の黒字化 赤字額を少しでも縮小と重要な事務 経費の縮減 人件費の削減等 思い切った改革が必要と思うが 方法を見つけ出すことが難しい 引き続きの医師の確保 経費の見直しを計りたい。

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持
 イ. 見直しのうえで継続する
 ウ. 終期設定
 エ. 廃止
 オ. 休止



c 上記 a~e を選択